

# せいじの

平成27年9月

147号

青磁野リハビリテーション病院  
 せいじの健診センター  
 介護老人保健施設 青翔苑  
 グループホーム あおばの家  
 地域介護相談センター けあまっぶ城西  
 訪問看護ステーション城西  
 せいじのヘルパーステーション  
 サービス付き高齢者向け住宅 ファインテラスせいじの  
 熊本市西2地域包括支援センター

## 青翔苑の現状と利用に当たって

青翔苑には、利用者の状態に応じて4つのサービスがあります。平成27年6月に利用された方々は、入所44名（ミドルステイも含む）短期入所（ショートステイ）51名、通所リハビリ（デイケア）103名、併設の認知症デイサービス23名でした（6/30現在）。利用者の年齢を見ると入所での平均年齢は90才で、100才以上の方も2名おられ高齢化がみられました。

入所以外の利用者の平均年齢はそれぞれ85才前後でした。男女比はデイケアでは男性41%、女性59%とあまり差がありませんでしたが、入所、ショートステイ、デイサービスでは、それぞれ女性が84%、75%、83%と圧倒的に女性が多い結果でした。

現在、核家族化が進み、独居や老々世帯の増加が見られ、家族構成が施設利用のあり方に影響をあたえています。その中で利用者は障害のある方もそうでない方も高齢であるにもかかわらず元気な方が多いという印象があります。

利用者の方が状態に応じて在宅で多くの時間を過ごすことができるように、またご家族の事情も考慮して、有効に4つのサービスを利用していただき、ストレスの解消、介護負担軽減につながれば幸いです。そのためにも支援相談員、介護支援専門員を十分に活用していただき、現在はもとより近い将来のことについても相談していただきたいと思っています。



医療法人金澤会  
 介護老人保健施設 青翔苑  
 施設長

坂本 和義

平成24年4月より在宅強化型老人保健施設(※)となりました。さらなる在宅復帰体制の強化を図り、利用者、ご家族の希望に出来るだけそえるように努力していきたいと考えています。

※在宅強化型老人保健施設  
 在宅復帰率が50%を超え、ベッドの回転率が10%以上、重度者要件等で要介護4又は要介護5の利用者が35%以上であること、等の要件を満たす、在宅復帰・在宅支援機能が高い老健施設



せいじの147号

- 肺の生活習慣病COPDについて
- クローズアップ！ 青磁野リハビリテーション病院 東第2病棟
- 包括支援センターの機能強化について
- 地域連携ドクター紹介

# 肺の生活習慣病COPDについて

COPDとは、Chronic Obstructive Pulmonary Disease、日本語で“慢性閉塞性肺疾患”といわれている肺の病気の略称です。以前は、肺気腫と慢性気管支炎に分けて呼ばれていました。COPDと診断されている患者さんの数は20数万人と言われていますが、実際には500万人以上と推定されています。患者さんの多くは確実な診断がなされていないために、一つの病気としての十分な治療が受けられていないのが現状です。

原因の多くは、喫煙(約90%)、大気汚染など有毒物質の長期間の吸入です。喫煙習慣が原因のほとんどを占めるため、『肺の生活習慣病』と言われていのです。

主な症状は慢性の咳、痰と体を動かした時に出現する息切れです。重症になると呼吸数や脈拍数が増え、呼吸不全に至ります。進行すると体重減少や食欲不振も起こり、体や手足の筋力、筋肉量も減ってしまいます。また、右心不全が出現すると呼吸困難がさらに悪化し、全身のむくみや夜間の頻尿などが現れます。息切れなどによる抑うつ状態や不安などの精神的な症状も多くみられます。

COPDでは全身性の慢性的な炎症が関わるため、併存症として、栄養障害：脂肪量、除脂肪量の減少、骨格筋機能障害：筋量・筋力の低下、心・血管疾患：心筋梗塞、狭心症、脳血管障害、そして骨粗鬆症、抑うつ、糖尿病、睡眠障害、貧血など多くの疾患を認めます。



青磁野リハビリテーション病院  
副院長 森 孝志 (もり たかし)  
診療科目：内科・呼吸器内科

また、肺がんなどの合併症についても注意が必要です。

診断には、胸部X線・CTといった画像検査のほかに肺機能検査が不可欠となっています。COPDの発症を予防し進行を遅らせるためには禁煙が最も重要ですが、感染症合併による増悪をさけるためにはインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種も大切になってきます。治療薬として吸入薬など非常に有効な薬物が出そろってきましたが、呼吸リハビリテーションや栄養管理などの“非薬物療法”も内服薬や吸入薬などの薬物療法と同じくらい重要であるといわれています。また、呼吸不全を合併する場合には在宅酸素療法が行われます。

喫煙習慣のある方は一度医療機関を受診されることをお勧めします。



## クローズアップ!

### ～青磁野リハビリテーション病院 東第2病棟 編～

昨年9月より、一般病床から地域包括ケア病棟へ転換しました。おもに手術後の管理やリハビリ、中軽度の疾患治療など、在宅復帰を目的とした病棟です。

お一人の患者様に対して、看護・介護・リハビリ全ての職種を受け持ち制とし、患者様またご家族の気持ちに寄り添い、介護が必要な方でも自宅で暮らせるように、早期から支援を行っています。「どうしたらいいのか」の思いをお気軽にご相談ください。一緒に考えていきます。

「Be the Best Partner」

皆様のよきパートナーでありたいと願っています。



看護職員20名・介護職員7名・専任リハビリ1名  
クラーク1名、合計29名のスタッフ

# 包括支援センターの機能強化

## ～生活支援コーディネーターと協議体の設置～

(ささえりあ井芹 室長 徳永航太)



介護保険制度は、3年に1度改正が行われており、平成27年度は介護保険制度が創設されてから6回目の改正年度にあたります。今回はこれまで国が一律に定めていた介護保険サービスの一部を市町村の裁量で定めることや、一定所得以上の方の介護保険サービス利用料を1割から2割に引き上げるなど、大規模な改正となりました。紙面の都合上、改正内容の全てを説明することができませんので、今回は「ささえりあ」の機能強化に的を絞ってご説明させていただきます。

これからの超高齢社会を迎えるにあたり、これまでのように介護保険などの公的サービスだけで支えることは制度的にも財政的にも限界があるとの国の判断もあり、今後、地域の福祉力を向上させていく「地域包括ケアシステム」の構築を各市町村で担っていくことになりました。「地域包括ケアシステム」とは、医療・介護・予防・住まい・生活援助が一体的に提供されるシステムのことで、これまでの介護予防サービスなどの公的支援（共助・公助）に加え、自分自身や家族による対応（自助）、地域住民の取組・ボランティアの活用（互助）を強化することで高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができることを目指しています。これらの体制を整備して、有機的に連携させる役割が必要であり、この役割を担う「生活支援コーディネーター（地域ささえあい推進員）」という職種が創設されました。



ささえりあ井芹

熊本市では生活支援コーディネーターを市内27カ所ある「ささえりあ」に配置する予定で、「ささえりあ」が地域づくりの中核を担っていくこととなります。具体的には地域にないサービスの創出やサービスの担い手の養成、元気な高齢者が活動する場の確保などの「資源開発」、関係者間の情報共有やサービス提供主体間の連携の体制づくりなどの「ネットワーク構築」を行います。ただ、生活支援コーディネーターだけでこれらの活動を行うことは困難なため、民生委員や自治会、社会福祉協議会やボランティアなどの団体に参画いただく「協議体」を設置して、多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働によりこれらの活動を推進することとなります。なお、熊本市では生活支援コーディネーターと協議体の設置は平成27年10月を予定しています。



# 地域連携ドクター紹介

## い나다眼科

い나다 こういちろう

院長 稲田 晃一朗先生



平成9年4月に、花園の本妙寺通りに開業致しました。熊大眼科時代は、特にぶどう膜炎（全身的な疾患との関係が多い眼内の炎症）、涙の病

気、ロービジョンケア（視覚障害の方へのケア）等の診療、研究をしておりました。現在はさらに眼鏡、コンタクトレンズ、斜視・弱視、緑内障、また糖尿病、高血圧等による眼疾患等、各種病院と連携して、診療、治療を行っております。青磁野リハビリテーション病院の皆様にはいつも御世話になり、感謝しております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 診療科目

眼科一般、眼鏡・コンタクトレンズ処方、ロービジョンケア（視覚補助具の説明使用訓練等も含む）斜視・弱視検査訓練 内科、放射線科、消化器内科、呼吸器内科

### 診療日・診療時間

	月	火	水	木	金	土	
8:30~12:30	○	○	○	○	○	—	日祝休診
8:45~15:00	—	—	—	—	—	○	
14:00~17:30	○	○	○	—	○	—	

### 所在地

熊本市西区花園二丁目1-58  
TEL 096-351-3005



## 外来診療担当表

平成27年4月～

《受付時間》 午前／ 8:30～12:00  
午後／13:30～17:00

《診療時間》 午前／ 9:00～12:00  
午後／14:00～17:00

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	金澤知	金澤知	石本	金澤知	竹内	第1・3・5 古賀
		石本	森	岩本	岩岡	金澤尚	第2・4 菊川
		釘宮	上野	金澤尚	佐々木	安野	—
	午後	上野	竹内	森	佐々木	高木	橋本
		釘宮	岩岡	(予約制)安野	(予約制)石本	岩岡	—
		—	橋本	—	—	橋本	—
整形外科	午前	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	金澤親	—
	午後	予約制					—

## 金澤会のデータ

(平成26年度)

### 病院診療情報

- ・外来患者延数 36,857人(1日平均124.5人)
- ・延べ入院患者数 75,921人(1日平均208.8人)
- ・新入院患者数 778人
- ・退院患者数 785人
- ・平均在院日数(一般病棟H26.8迄) 16日
- (地域包括ケア病棟H26.9～) 33日

### 金澤会職員総数 (平成27年8月1日現在)

- 常勤職員 437人
- パート職員 108人
- 合計 545人 (常勤換算477人)

### ●青磁野リハビリテーション病院 患者憲章●

患者様には次の権利があります。

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 医療に関する説明や情報を知る権利
3. 選択の自由と自己決定の権利
4. 個人の情報が守られる権利
5. 尊厳を守られる権利

せいじの147号 平成27年9月

発行人●医療法人金澤会

発行人●金澤 知徳

編集●青磁野リハビリテーション病院 総務課

〒860-8515 熊本市西区島崎2丁目22-15

TEL096-354-1731 FAX096-354-1736

http://www.seijino.or.jp/



日本医療機能評価機構  
認定第JC1194号  
平成23年12月更新